



神戸空港 航空機事故消火救難総合訓練を実施

関西エアポート神戸株式会社は、10月19日（水）に神戸空港において、航空機事故対策総合訓練を実施することをお知らせします。

当訓練は、神戸空港で航空機事故が発生した場合に備え、神戸空港緊急計画の有効性について検証を行うとともに、関係機関と緊密な連携と協力による、迅速かつ適切な消火救難・災害医療活動を実施することを目的としています。なお、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで訓練を実施いたします。

関西エアポートグループは、引き続きお客様の旅を支える安全を確保し、空港を安心して利用いただけるよう、様々な訓練を続けてまいります。

- 日 時：2022年10月19日（水）15:00～17:00
- 場 所：神戸空港メンテナンスエリア、1番スポット
- 主 催：神戸空港緊急計画連絡協議会
- 参加機関：スカイマーク株式会社、全日本空輸株式会社、大阪航空局神戸空港出張所、海上保安庁神戸海上保安部、神戸市、神戸市消防局、神戸新交通株式会社、自衛隊、西日本電信電話株式会社兵庫支店、兵庫県、兵庫県警察、医療機関、ニチイ神戸ポートアイランドセンター、消火救難協力隊（神戸空港事業所）、ポートアイランド4大学協議会（学生ボランティア）、関西エアポート神戸株式会社、他
約30機関（順不同）
- 参加人数：約200名
- 訓練想定：飛行中にトラブルにより緊急宣言し神戸空港に緊急着陸を要請。神戸空港着陸後に滑走路中央付近で停止し、第1エンジンより出火。乗員・乗客多数の負傷者が発生。
- 訓練項目：(1) 事故通報、情報伝達訓練 (2) 出動訓練 (3) 消火活動訓練
(4) 警戒及び入場規制訓練 (5) 現場合同調整所活動訓練 (6) 現地対策本部訓練
(7) トリアージ地区、救急指揮所、各救護所、無傷者待機地区の設置訓練
(8) 避難誘導訓練 (9) 負傷者救助訓練 (10) 担架搬送訓練 (11) トリアージ活動訓練
(12) 災害医療活動訓練 (13) 負傷者救急搬送訓練
(14) ヘリコプターによる負傷者搬送訓練
(15) 遺体の身元確認訓練（死亡確認含む）及び遺族支援（心のケア）訓練
(16) 無傷・軽症者対応訓練
- 訓練の様子（過去事例）



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel：072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンサルティング、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界約30カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、〈オリックス〉という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において53空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JT B、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構